

科目ナンバー： BC5064

授業コード： 2230500600

講義科目名称： 総合実習Ⅰ

英文科目名称： Comprehensive Nursing PracticeⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	必修
担当教員			
◎岡村典子、◎石田和子、◎常盤洋子、◎大久保明子、◎小長谷百絵、◎谷本千恵、◎高林知佳子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期 【授業時間】 60時間 【担当教員】 <table><thead><tr><th>【氏名】</th><th>【所属】</th><th>【研究室】</th><th>【メールアドレス】</th></tr></thead><tbody><tr><td>◎岡村 典子（基礎看護学） norio@niigata-cn.ac.jp</td><td>新潟県立看護大学</td><td>216</td><td></td></tr><tr><td>◎石田 和子（成人看護学） kazukoi@niigata-cn.ac.jp</td><td>新潟県立看護大学</td><td>317</td><td></td></tr><tr><td>◎高柳 智子（成人看護学） takatomo@niigata-cn.ac.jp</td><td>新潟県立看護大学</td><td>203</td><td></td></tr><tr><td>◎常盤 洋子（母性看護学） yotokiwa@niigata-cn.ac.jp</td><td>新潟県立看護大学</td><td>320</td><td></td></tr><tr><td>◎大久保 明子（小児看護学） ohkubo@niigata-cn.ac.jp</td><td>新潟県立看護大学</td><td>207</td><td></td></tr><tr><td>◎小長谷 百絵（老年看護学） konagaya@niigata-cn.ac.jp</td><td>新潟県立看護大学</td><td>213</td><td></td></tr><tr><td>◎谷本 千恵（精神看護学） tanimoto@niigata-cn.ac.jp</td><td>新潟県立看護大学</td><td>312</td><td></td></tr><tr><td>◎高林 知佳子（地域看護学） takabaya@niigata-cn.ac.jp</td><td>新潟県立看護大学</td><td>304</td><td></td></tr></tbody></table> 実務経験のある教員が担当します 【本学の科目区分】 専門科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【DP1】 ○ 【DP2】 ○ 【DP3】 ◎ 【DP4】 ○ 【DP5】 【DP6】 ○	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】	◎岡村 典子（基礎看護学） norio@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	216		◎石田 和子（成人看護学） kazukoi@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	317		◎高柳 智子（成人看護学） takatomo@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	203		◎常盤 洋子（母性看護学） yotokiwa@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	320		◎大久保 明子（小児看護学） ohkubo@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	207		◎小長谷 百絵（老年看護学） konagaya@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	213		◎谷本 千恵（精神看護学） tanimoto@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	312		◎高林 知佳子（地域看護学） takabaya@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	304	
【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】																																		
◎岡村 典子（基礎看護学） norio@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	216																																			
◎石田 和子（成人看護学） kazukoi@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	317																																			
◎高柳 智子（成人看護学） takatomo@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	203																																			
◎常盤 洋子（母性看護学） yotokiwa@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	320																																			
◎大久保 明子（小児看護学） ohkubo@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	207																																			
◎小長谷 百絵（老年看護学） konagaya@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	213																																			
◎谷本 千恵（精神看護学） tanimoto@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	312																																			
◎高林 知佳子（地域看護学） takabaya@niigata-cn.ac.jp	新潟県立看護大学	304																																			
到達目標	1. 各専門領域におけるケアの対象者やその医療・ケアの特徴を総合的に理解する。 2. 専門的知識・理論を活用した看護援助を実践し、専門的・統合的な看護能力を修得する。																																				
授業概要	学生の個々の学修課題に対応した病院や地域の実習場所を選定し、現実に即した看護活動および、課題に対応した看護を総合的に実施しながら学ぶ。具体的には複数患者を担当する実習、あるいは一勤務帯および夜間の実習、課題による看護過程の展開実習を行い、この看護援助を通して総合的な看護能力を培うとともに、自らにとっての「看護とは」をあらためて吟味する機会とする。																																				
授業計画	授業内容 授業形態：実習（対面） 学修課題・学習内容：当該コースの実習目標・内容、場所、スケジュールによって実習する。 実習期間：7～8日間（臨地） 事前学修：1～3年次に受講した講義・演習・実習での学習内容や自己の課題、看護技術到達度リストなどを振り返り、各領域の実習目標を達成するために関連する知識・技術の復習を行う。 事後学修：実習記録やレポート等に学習内容を整理し、学修上課題となった知識や技術を自己学習する。 *その他、各実習コース（領域）で指定された事前・事後学習を実施する。																																				
評価方法、評価基準	到達目標1・2は、実習に取り組む姿勢、実習記録物、成果報告発表、レポートなどにより総合的に評価する。評価は実習担当教員が責任を持つ。																																				
必携図書	特に指定しない。																																				
参考図書・資料等	各専門領域の実習担当教員が適宜紹介する。																																				
受講、課題、資料配布等のルール	実習オリエンテーション時に示されるルールにより、実習担当教員の指示に従って実習する。																																				

教員からのメッセージ	各自が明確な実習目標を立て、主体的に実習に取り組んでください。 実習担当教員に十分相談し、指導を受けながら行ってください。また、実習場所とよく連絡をとり、チームメンバーや多職種の人々との調和を図るように努めて実習してください。
オフィスアワー	在室時、対応可能（メール等での事前連絡が望ましい）